

論文試験

(注意)
一 本試験問題は指示があるまで開かないこと。

二 本試験問題は(この表紙と白紙を除き)八頁、解答紙は三枚である。「始め」の合図があつたら、それぞれ確認すること。

三 解答文は横書きとし、所定の解答欄に記入すること。

四 論文試験の筆記具は、B又はHBの鉛筆又はシャープペンシルを使用することとし、それに従わない答案は無効とする。

五 ラインマーカー及び色鉛筆の使用は、問題検討のために、問題用紙及び答案構成用の下書き用に限り許可する。

第一問 次の文章をよく読んで小問①、②、③に答えなさい。

〔出典〕佐伯啓思『学問のカ』（N T T出版株式会社、二〇〇六年）

① この文章において、「リベラリズム」とは何か。文章全体の論旨との関連で重要と思われるその思想としての特徴を述べなさい。

（八〇字以上一〇〇字以内）配点三〇点

② この文章において「リベラリズム」の思想としての問題点とは、どのようなことか。

（八〇字以上一〇〇字以内）配点三〇点

③ この文章が示唆する「リベラリズム」と「原理主義」の対立を解決する方法とは、どのようなものかと考えられるか。次の五つの語句をすべて用いて述べなさい（五つの語句、が解答中で用いられる順序は自由とする）。

リベラリズムの前提条件 消極的自由 積極的自由

リベラリズムの限界 普遍性

（四〇〇字以上五〇〇字以内）配点九〇点

第二問 次の文章をよく読んで小問①、②に答えなさい。

〔出典〕内田惣七『ダーウインの思想―人間と動物のあいだ』

（岩波書店、二〇〇九年）一八八頁最終行―一九六頁九行

① 傍線（二）「道徳的に優れた人物が、仲間のために犠牲となって、自分の子孫を残さないで死んだ場合には、その優れた道徳的資質は遺伝可能だったとしても、自分の集団のうちに広がらないではないか」という難問に対して、筆者は、どのような解決の方向性を示しているか。筆者の主張に従って具体的に説明しなさい。

(二〇〇字以上三〇〇字以内)配点五〇点

- ② 傍線(一)「自然淘汰説の枠内での道德感覚の進化のシナリオ」について、①の解答を踏まえ、筆者の主張に従って具体的に説明しなさい。

(六〇〇字以上七〇〇字以内)配点一〇〇点